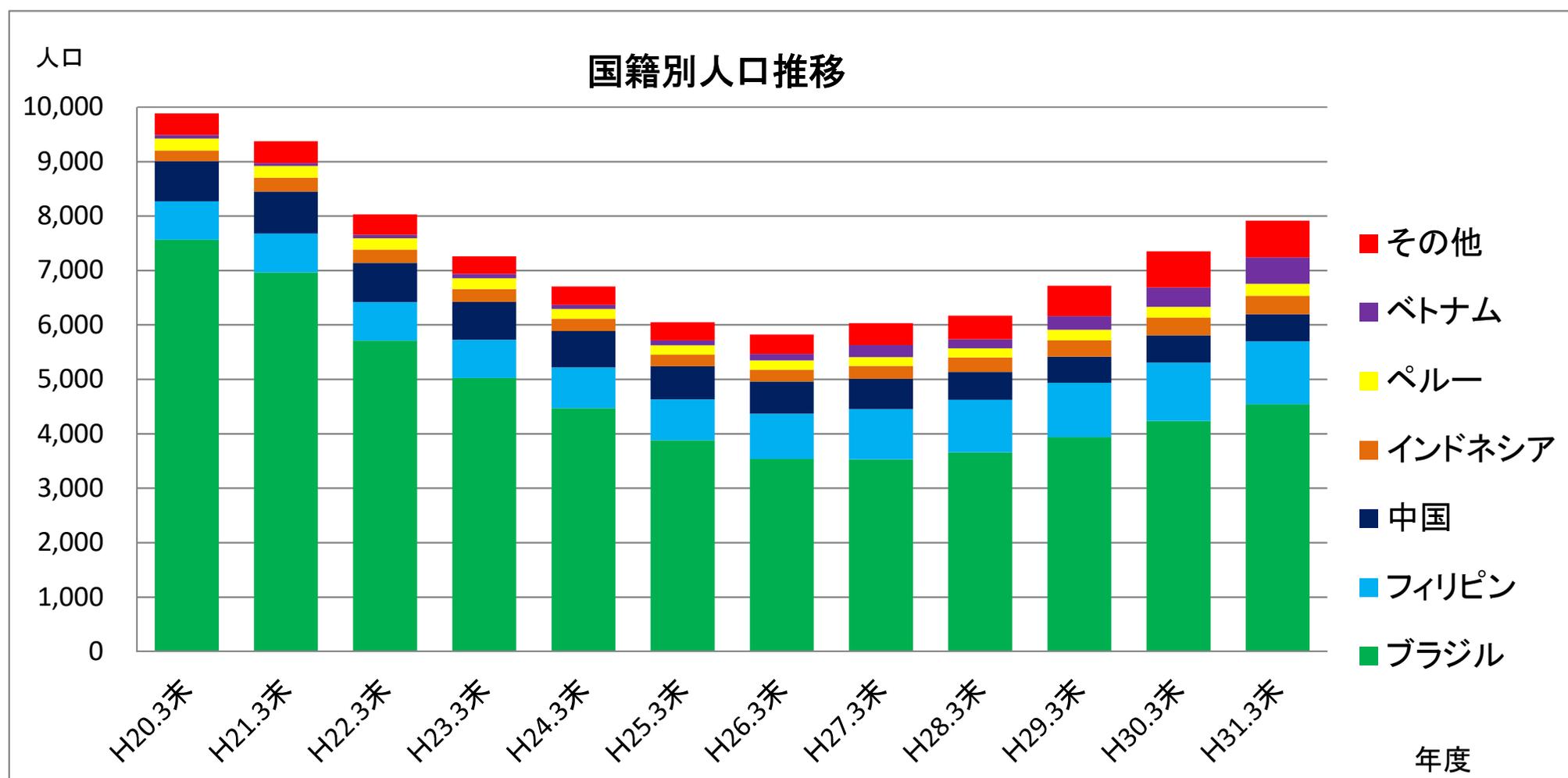


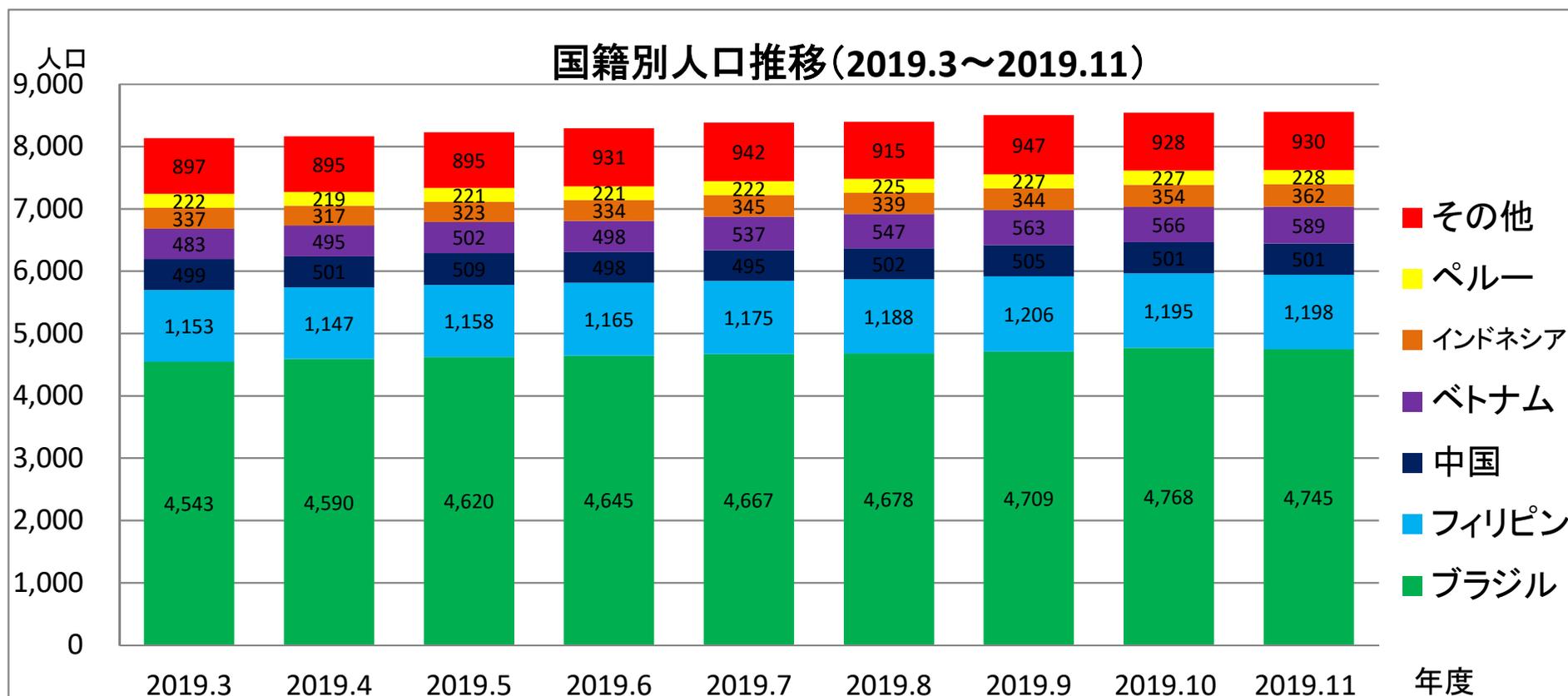
国籍別人口推移

国	H20.3末	H21.3末	H22.3末	H23.3末	H24.3末	H25.3末	H26.3末	H27.3末	H28.3末	H29.3末	H30.3末	H31.3末
ブラジル	7,563	6,964	5,711	5,025	4,469	3,879	3,535	3,530	3,658	3,941	4,232	4,543
フィリピン	706	713	706	701	750	751	835	920	966	996	1,075	1,153
中国	738	772	722	698	666	611	591	559	511	481	502	499
インドネシア	196	252	241	233	228	210	215	238	269	300	324	337
ペルー	219	217	211	201	178	173	170	158	164	193	195	222
ベトナム	67	52	63	76	76	92	121	222	167	249	358	483
その他	396	401	373	325	335	333	353	405	434	556	665	675
年度末合計	9,885	9,371	8,027	7,259	6,702	6,049	5,820	6,032	6,169	6,716	7,351	7,912



国籍別人口推移(2019.3～2019.11)

国	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑨(⑧-①)	⑨/①
	2019.3	2019.4	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9	2019.10	2019.11	増加数	増加率
ブラジル	4,543	4,590	4,620	4,645	4,667	4,678	4,709	4,768	4,745	202	4.45%
フィリピン	1,153	1,147	1,158	1,165	1,175	1,188	1,206	1,195	1,198	45	3.90%
中国	499	501	509	498	495	502	505	501	501	2	0.40%
ベトナム	483	495	502	498	537	547	563	566	589	106	21.95%
インドネシア	337	317	323	334	345	339	344	354	362	25	7.42%
ペルー	222	219	221	221	222	225	227	227	228	6	2.70%
その他	897	895	895	931	942	915	947	928	930	33	3.68%
総数	7,912	7,945	8,007	8,071	8,161	8,169	8,274	8,312	8,325	413	5.22%
日本人	161,813	161,870	161,857	161,826	161,792	161,704	161,624	161,634	161,577	△ 236	△0.11%



国籍別外国人の人口

令和元年11月末現在

	国籍	人数	構成比	前月比
1	ブラジル	4,745	57.0%	-23
2	フィリピン	1,198	14.4%	3
3	ベトナム	589	7.1%	23
4	中国	501	6.0%	0
5	インドネシア	362	4.3%	8
6	ペルー	228	2.7%	1
7	タイ	193	2.3%	1
8	韓国	115	1.4%	0
9	スリランカ	82	1.0%	0
10	パキスタン	48	0.6%	0
	その他	264	3.2%	0
	合計	8,325	100.0%	13

国籍	技能実習(1・2号)合計	永住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者	XXX
合計	1,085	3,188	519	173	2,603	320
ベトナム	384	15	10	3	3	128
インドネシア	239	13	4	1	2	40
フィリピン	199	423	93	29	421	19
中国	119	225	35	8	16	34
タイ	112	16	10	1	0	25
カンボジア	18	0	0	0	0	1
ブラジル	6	2,224	331	103	2,065	2
インド	3	2	0	0	0	14
ミャンマー	3	0	0	0	0	2
パキスタン	2	15	2	7	9	9
アルゼンチン	0	4	1	0	4	0
オーストラリア	0	4	1	0	0	1
ボリビア	0	3	1	0	1	0
ブータン	0	1	0	0	0	0
バングラデシュ	0	10	0	0	0	2
カメルーン	0	0	0	0	0	0
カナダ	0	2	0	0	0	0
コロンビア	0	0	2	0	5	0
台湾	0	8	3	1	3	5
ドミニカ共和国	0	2	0	0	0	0
フランス	0	0	0	0	0	1
ドイツ	0	1	0	0	0	0
イラン	0	1	0	0	0	0
イタリア	0	1	0	0	0	0
ジャマイカ	0	0	0	0	0	0
朝鮮	0	0	0	0	0	0
韓国	0	34	9	1	3	10
ケニア	0	1	0	0	0	0
マレーシア	0	1	0	0	0	3
メキシコ	0	1	0	0	0	0
モロッコ	0	0	1	0	0	0
モルディブ	0	1	0	0	0	0
ネパール	0	4	0	0	0	4
オランダ	0	0	0	0	0	0
ニュージーランド	0	0	0	0	4	1
ナイジェリア	0	2	1	0	0	1
パラグアイ	0	5	0	0	4	0
ペルー	0	147	9	15	57	0
ポーランド	0	1	0	0	0	0
ポルトガル	0	1	0	0	0	0
ルーマニア	0	1	0	0	0	0
ロシア	0	2	0	0	0	0
スリランカ	0	6	1	3	6	5
スペイン	0	0	0	0	0	1
シンガポール	0	1	0	0	0	4
南アフリカ共和国	0	0	0	0	0	0
タンザニア	0	1	0	0	0	0
トルコ	0	0	0	1	0	0
トンガ	0	0	1	0	0	0
英国	0	1	1	0	0	1
米国	0	7	3	0	0	3
ウルグアイ	0	1	0	0	0	0
その他（出生等）	0	0	0	0	0	4

XXX内訳

在留資格	11月	国籍内訳	H30
経営・管理	5	スリランカ1、パキスタン1、バングラデシュ1、中国2	4
技術・人文知識・国際業務	221	インド14、インドネシア14、オーストラリア1、カンボジア1、シンガポール3、スペイン1、スリランカ4、タイ11、ナイジェリア1、ニュージーランド1、ネパール4、パキスタン8、バングラデシュ1、フィリピン3、ブラジル2、フランス1、 ベトナム108 、マレーシア2、ミャンマー2、英国1、韓国9、台湾4、中国22、米国3	162
技能実習3号イ	0		0
技能実習3号ロ	77	インドネシア26、タイ13、フィリピン14、ベトナム20、中国4	18
介護	0		0
特定技能1号	3	タイ1、フィリピン2	-
特定技能2号	0		-
高度専門職1号イ	1	中国1	0
高度専門職1号ロ	8	マレーシア1、韓国1、台湾1、中国5	6
高度専門職1号ハ	0		0
高度専門職2号	0		0
出生・国籍喪失経過滞在者	4	出生4	4
計	319		194

令和元年度 第 1 回磐田市多文化共生社会推進協議会 摘録

日 時	令和元年 7 月 24 日（水）午後 7 時 00 分～9 時 00 分
場 所	磐田市役所西庁舎 3 階 第 302～303 会議室

1. 現状及び課題の整理

前年度までの議論等に基づく、磐田市の現状と課題

(1) 第 1 世代の高齢化と第 2 世代の台頭

- ・ 第 1 世代は、介護等の高齢化問題が顕在化。
- ・ 第 1 世代の子どもにあたる第 2 世代が社会の中で活躍し始めている。

(2) 支援者の世代交代

- ・ 団体等で外国人の支援者として関わってきた世代が高齢化。

(3) 市長部局と教育委員会の連携

- ・ 市長部局と教育委員会において現状及び課題の共有を徹底する。

2. 主な意見

(1) 入国管理法改正の影響

技能実習生からの切り替わりにより、東南アジアの外国人が増加する見込み。

(2) 外国人同士の結婚

在留資格（永住者の配偶者等）の影響で、異なる国籍の外国人が結婚するケースがある。当初プラン策定時に想定していなかった状況が生じている。

(3) 外国人児童生徒数の増加

- ・ 親が子どもの教育についてあまり考えない子どもが学校に適応できない。

(4) 外国人の雇用

- ・ 今後、大学等を卒業した外国人を対象に、高度人材として積極的にビザが発給される見通しのため、企業としては外国人と交流の場は積極的に持ちたい。
- ・ 外国人社員の正規雇用化を推進している。1 社でも仲間を増やし、外国人がいたからこの会社が伸びたと言われるようにしていきたい。

(5) 教育現場

学校現場では、一人一人の子どもに個別の対策をするしかない。支援状況は改善されているが、外国人が増加していく中で、教育現場は疲弊している。

3. 今後検討すべき課題

- ・ 浜松ブラジル領事館と磐田市の連携

ブラジル人は災害で困ったときに、領事館に報告しているが、災害のボランティアの募集等の情報などは、領事館と行政が連携していくことが必要。

今後は、磐田市における多文化共生の取り組みに関して領事館に事例紹介をするなど、両方で情報等の連携を推進するための取り組みを開始する必要がある。

報 告 書	
年 月 日	令和元年 11 月 19 日（火） 11：00～12：00
場 所	在浜松ブラジル総領事館 （浜松市中区元城町 115-10 元城町共同ビル 5 階）
用 件	総領事への面談
参 加 者	総領事：フーバル エルネスト 総領事秘書：鍵山 三加子 地域づくり応援課：磯部課長、宮本補佐、藤田 浜松いわた信用金庫：相川アンジェラ
<p>1. 総領事からの質問と回答</p> <p>Q 多文化共生推進プランの策定はいつ頃に行われたか。</p> <p>A 第 1 次プランの策定は 2007 年（平成 19 年）3 月、 第 2 次プランの策定は 2012 年（平成 24 年）3 月、 第 3 次プランは 2017 年（平成 29 年）3 月に策定され、対象期間は 2021 年（令和 3 年度）まで。</p> <p>Q 第 1・2 次プランから第 3 次プランで見直した点は。</p> <p>A 外国人の長期定住化・永住化が進行したことで、新たに 3 つの柱、18 の具体的な施策を設けた。</p> <p>Q 磐田市に国際交流協会はあるか。また、どのような活動をしているか。</p> <p>A 磐田国際交流協会がある。日本語教室の実施、文化交流事業の「インターナショナルフェア」の開催、教育委員会からの委託で「外国人児童生徒学習支援事業」などを行っている。</p> <p>Q 教育問題を憂慮。外国人児童への教育支援は行われているか。</p> <p>A 参考 1 「磐田市外国人児童生徒への支援体制」のとおり。</p> <p>Q ブラジル人と自治会との関係は。浜松市では高丘自治会が、ブラジル人との共生に積極的である。</p> <p>A 企業の働きかけによる外国人従業員の地域防災訓練への参加や、自治会主催で開催した外国人と日本人住民の交流会など、地域で共生活動が生まれている。（資料 P17～19） また、外国人情報窓口では外国人転入者に「自治会」について説明し、加入を促している。</p> <p>Q 自治会への加入状況は。</p> <p>A 具体的な数字は把握していない。</p>	

2. 総領事からの意見または依頼内容

- ・磐田国際交流協会と連絡をとりたい。総領事館への訪問を打診してほしい。浜松国際交流協会と総領事館は、良いパートナーシップを組んでいる。
- ・外国人児童生徒への支援体制の具体的な内容を知りたい。
- ・ブラジル人は地域活動を行う文化的な背景がないので、地域活動へ参加させるためには、国民性を理解したうえでの取り組みが必要。
- ・ブラジル人の高齢化問題を大変憂慮。60歳以上の方も多い。
- ・ブラジル人は、派遣会社を通じて来日するケースが多く、健康保険等について情報を得る機会がないため、無保険者が多い。外国人情報窓口において、健康保険等の必要性を伝え、加入を促して欲しい。
- ・総領事館では来年度初めに、浜松市、名古屋市の主な派遣企業を対象にブラジル人の高齢化問題と保険加入の促進について、話し合いの場を用意する予定。
- ・磐田市においても高齢化問題、無保険問題について調査、研究をしてほしい。
- ・総領事館の役割も、訪日ブラジル人の長期定住化に合わせて変化。商工会議所と協働して起業の援助を行っている。
- ・総領事館では磐田市と課題を共有し、協働で問題の解決に取り組んでいきたいと考えている。
- ・可能であれば、外国人情報窓口で領事館の活動を紹介してほしい。

外国人従業員に関するアンケートのお願い

磐田市は、在住する外国人の人口及び全人口に占める割合が県内でも高い地域です。また、近年の景気動向等の影響で磐田市に転入する外国人数は増加傾向にあります。

市役所では、ゴミの捨て方等、外国人が日本で生活するための必要な情報を多言語で提供していますが、外国人と日本人が共に暮らしやすい社会（多文化共生社会）を推進するためには、**外国人が地域社会で活躍できる環境を、「行政・地域・企業」が協力して整える**ことが大切です。

つきましては、磐田市において多文化共生社会を推進するうえでの参考とするため、外国人を雇用する市内事業所の状況とご意見を伺いたいと思います。

お手数ですが、支障のない範囲で以下の質問内容にご回答いただき、返信用封筒にて送付ください。

また、eメールでご回答いただける場合は、アンケート用紙をデータで送信いたしますので、以下の連絡先までお知らせください。

連絡先：地域づくり応援課 地域支援グループ（担当：藤田）
TEL：(0538)37-4811 eメール：chiiki-ohen@city.iwata.lg.jp

外国人従業員に関するアンケート

(事業所名) _____ (担当者名) _____ (電話番号) _____
(メールアドレス) _____

質問1. 外国人従業員の数及び国籍（市外在住者含む）※雇用形態（技能実習生等）は問いません

- 外国人従業員数：令和元年 月 日現在で _____ 人
- 国籍内訳（該当する国籍に○をつけてください。可能であれば人数もお願いします。）
ブラジル _____ 人, フィリピン _____ 人, ベトナム _____ 人, インドネシア _____ 人, 中国 _____ 人, ペルー _____ 人, タイ _____ 人
その他 _____ 人

質問2. 外国人従業員が日本語を習得するための取り組み（該当項目に○）

1. 自社で日本語教室を実施
2. 磐田国際交流協会主催の日本語教室へ参加
3. 日本語学習教材（通信教育含む）取得補助
4. その他（ _____ ）
5. 特になし

質問3. 外国人従業員が日本で生活するための支援（該当項目に○）

1. 日常生活に関する研修会の実施
2. 通訳者等により日常生活に関する悩み相談
3. その他（ _____ ）
4. 特になし

質問4. 外国人従業員が地域活動（自治会活動・地区の祭り等）に参加するための支援（該当項目に○）

例：事業所職員が外国人従業員を引率し地区の防災訓練に参加している

1. している 又は する予定（内容： _____ ）
2. していない

質問5. 外国人従業員への対応・支援等に対し行政及び支援機関に望むこと（自由記載）

[_____]

質問6. 事業所への「ポルトガル語版広報いわた」の配布を希望する（該当項目に○）

1. 希望する（必要部数： _____ 部）
2. 希望しない

協議事項 4 ワークショップについて（流れ）

1. 2つのテーマについて、現状を踏まえ委員思う自由な意見を出していただき、情報の共有をします。

1テーマにつき、意見交換を行う時間は、25分です。

□ テーマ1 『外国人住民の地域社会への参画について』

□ テーマ2 『外国人児童生徒への支援について』

2. グループ分けは、2ページ目のとおりです。

3. その場に出た意見を共有できるように、書記がスクリーンに見えるように転記します。

4. ファシリテーター役の職員が意見をまとめ発表（各テーマ5分）

5. 総括（10分）

ワークショップグループ分け

	氏名	かな	所属等	グループ
1	水野 勲	みずの いさお	自治会連合会	A
2	藤田 允	ふじた まこと	自治会連合会	B
3	鈴木 ゆみ	すずき ゆみ	磐田国際交流協会	A
4	渡邊 カルロス	わたなべ かるろす	(株)ORJ	B
5	平野 利直	ひらの としなお	平野ビニール工業株式会社	A
6	相川 アンジェラ	あいかわ あんじえら	浜松磐田信用金庫	B
7	山田 クリスティナ	やまだ くりすていな	在住外国人(フィリピン)	A
8	田中 琢間	たなか たくもん	在住外国人(ブラジル)	B
9	青島 彰	あおしま あきら	東部小学校	A
10	伊藤 知子	いとう ともこ	磐田市立東部幼稚園	B
11	鈴木 啓和	すずき ひろかず	磐田南高校(定時制)	A
12	清水 みゆき	しみず みゆき	在留外国人(ブラジル)	B
13	山田 裕美	やまだ ゆみ	多文化交流センター	A
14	杉田 友司	すぎた ともじ	多文化交流センター	B
15	中安 恵一	なかやす けいいち	学校教育課	ファシリテーター (教育)
16	鈴木 将祐	すずき まさひろ	地域づくり応援課	書記(教育)
17	河合 高宏	かわい たかひろ	地域づくり応援課	書記(交流)
18	中西 浩人	なかにし ひろと	地域づくり応援課	ファシリテーター (交流)
会長	池上 重弘	いけがみ しげひろ	静岡文化芸術大学	全体総括

◆地域との繋がりがづくり

【外国人情報窓口】

自治会への加入を促進するとともに、本人から了承を得た外国人の情報を自治会長に提供し、地区の防災活動等への参加を促している。

【技能実習生の掛塚祭りへの参加】

自動車プラスチック部品製造業者の技能実習生（フィリピンセブ島出身）約30人が掛塚祭りに参加



【アルミホイール会社技能実習生の防災訓練参加】

外国人情報窓口受託業者の技能実習生サポート業務の一環で、12月の天龍地区防災訓練に技能実習生5名が参加

実習生の感想…◆ベトナムで実施している防災訓練と似ている。
◆避難場所の位置がきちんとわかった。
◆瓦礫に挟まった人の救助の仕方を覚えられた。
◆いざという時、苦しんでいる人を助けたいと思った。



【日本語教室生徒及び技能実習生の防災訓練参加】

磐田国際交流協会が、日本語教室の生徒や地元企業の技能実習生35人が富岡地区避難所運営訓練に参加。

【自治会内の定住外国人との交流】

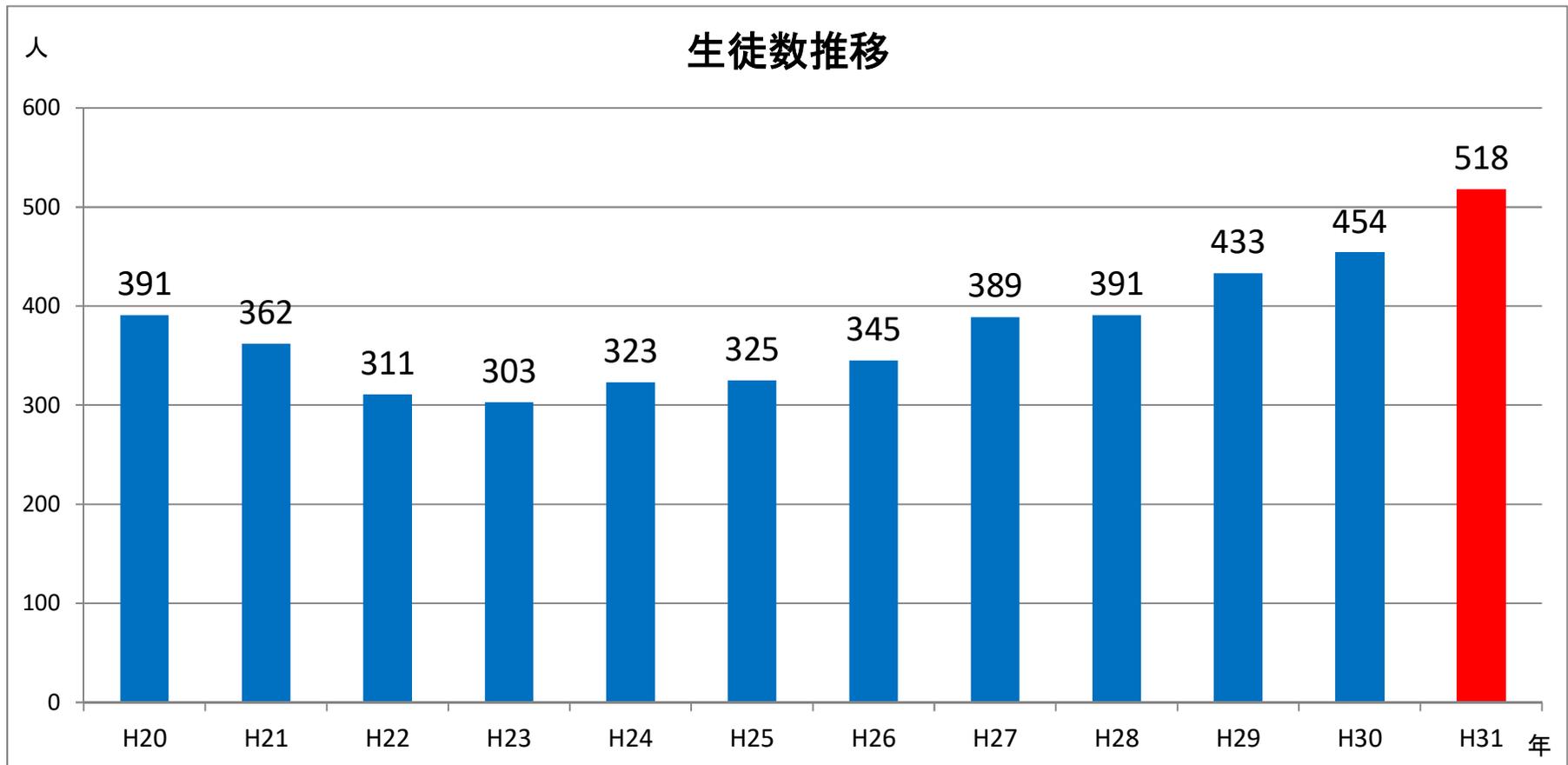
竜洋地区の敷地自治会において、自治会内に住んでいる外国人との交流会を開催。

ネパール：6名、中国：2名、ブラジル：1名が参加

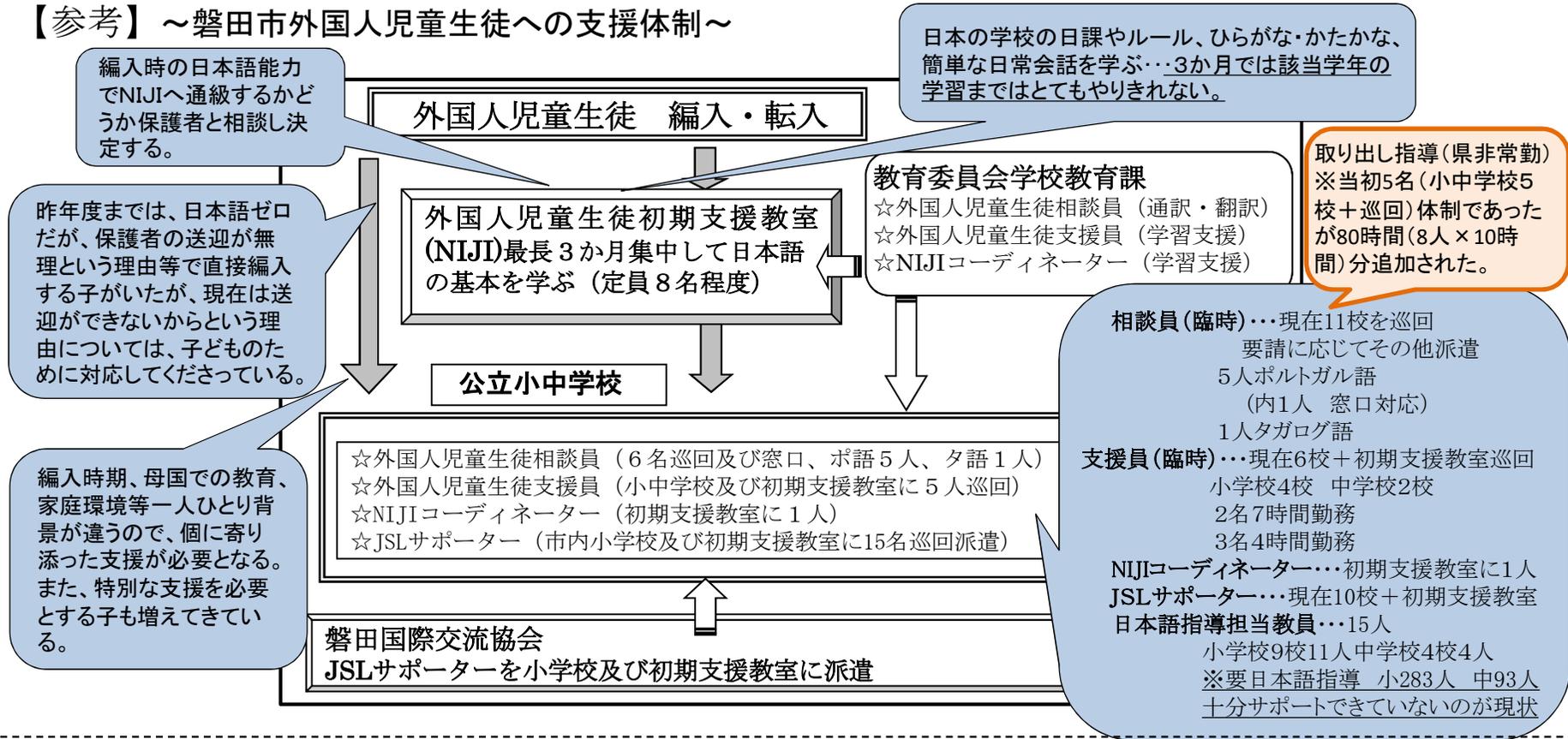


市内学校児童生徒数

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
生徒数推移	391	362	311	303	323	325	345	389	391	433	454	518



【参考】～磐田市外国人児童生徒への支援体制～



今年度の磐田市の現状

特別の教育課程

学校別人数 (R1.5.1) 18人以上

～小学校～

東部小	58人
磐田南小	52人
竜洋西小	28人
福田小	22人
磐田西小	21人
富士見小	19人
磐田中部小	18人

～中学校～

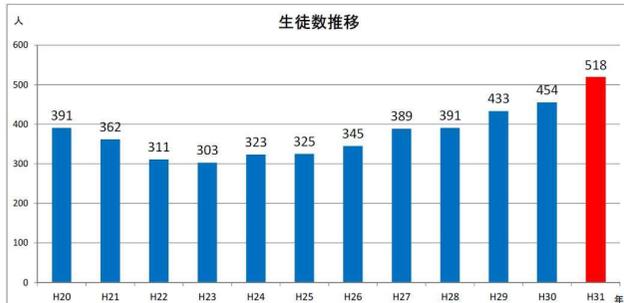
竜洋中	25人
磐田第一中	22人
南部中	20人

外国籍等	24校/32校
要日本語	23校/32校

外国籍児童生徒人数 (R1.5.1)

市内小学校児童生徒数

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
生徒数推移	391	362	311	303	323	325	345	389	391	433	454	518



NIJI通級者

H24	19人	R1	32人
H25	22人		※11月11日
H26	30人		
H27	40人		
H28	49人		
H29	30人		
H30	41人		

※年度途中で外国人の編入者が多い学校は、「中部小」「磐田西小」。
 「東部小」は全学年に在籍しているため児童数多いが、途中編入は少ない。